

平成28年度 9月補正予算(案)の概要

志国高知 幕末維新博の力強い推進に向けて

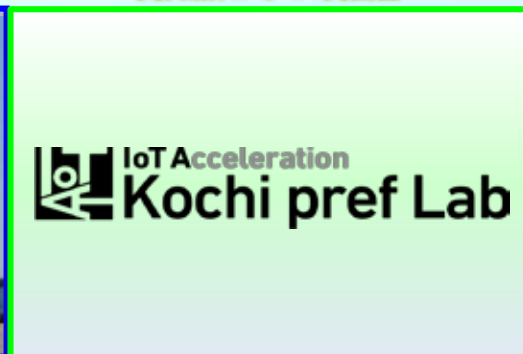


大型クルーズ船の受入態勢の充実

高知版 I o T の推進

遊漁・体験漁業等の振興

国の経済対策に応じた公共事業の追加



1. 経済の活性化

1,110百万円

観光振興の切れ目のない展開

「志国高知 幕末維新博」関連

- ・博覧会の開幕に向けて、**推進協議会が実施する本格的なプロモーションや、観光客の誘客・受入準備を支援**
- ・博覧会のメイン会場である高知城歴史博物館の**収藏品などを紹介する番組を制作し、博物館の魅力を県内外へ発信**
- ・博覧会のサブ会場である**こうち旅広場の改修、地域会場となる高知城及び県立文化施設(歴史民俗資料館等)の磨き上げ**よさこいを通じて2020年東京リトパッパ・リトパッパを盛り上げていくため、**全国のよさこい団体と連携したキックオフイベントを開催**
- ・外国客船受入時の**税関・出入国管理等(CIQ)の機能を備えたターミナルを高知新港に整備(実施設計委託)**

CIQ: Customs(税関)、Immigration(出入国管理)、Quarantine(検疫)

地産外商・拡大再生産に向けた展開

移住関連

- ・移住のゲートウェイとなる高知版CCRCの県内での普及と展開を図るため、**モデルとなる市町村の構想や計画づくりを支援**
- ・移住者向け住宅の確保等を促進するため、**空き家の実態調査・分析を支援**
- ・遊漁や体験漁業の振興を図るため、**遊漁船業者等が行う情報発信やサービス機能等の強化の取組を支援**
- ・新たな技術開発を通じて第一次産業や防災関連産業などのさらなる振興を図るため、**高知版IoTを推進**

IoT: Internet of Things(モノのインターネット) 機械や消費財など様々なモノがインターネットとつながり情報交換することにより新たな製品やサービスの創出が期待される。
<例:工場内の様々な機器をネットワーク化して情報を収集・分析することで最適なラインの構成などを実現し生産性の向上につなげる>

2. 南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

144百万円

- 熊本地震を受けて、**県立学校体育館の非構造部材の耐震化に係る点検・調査を実施**
- 旅館・ホテルの**事業継続計画(BCP)の策定及び初動対応訓練の実施等を支援**
- 国内外の高校生約360人を招き「**世界津波の日**」高校生サミットin黒潮を開催(11月25日・26日)

3. その他

5,325百万円

- 病弱特別支援学校及び心の教育センターの新築に係る基本設計委託
- 春野総合運動公園陸上競技場の芝改修工事
- 国の経済対策に応じた公共事業の追加(8の字関連事業、「三重防護」など河川・海岸の地震・津波対策)

9月補正予算（案）の全体像

歳入

(単位 千円、%)

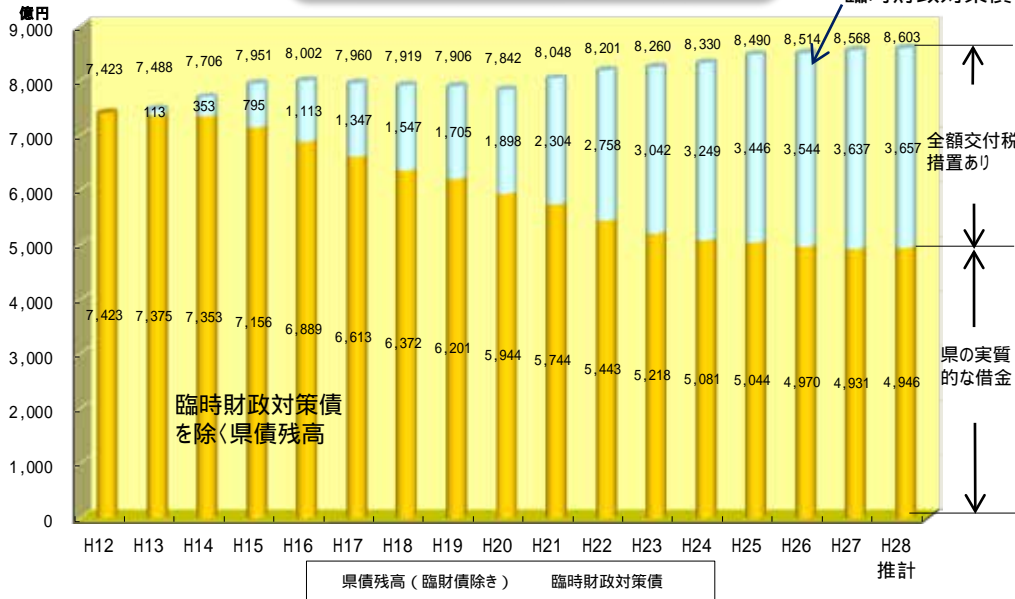
区 分	平成 28 年度				計 (A+B=C)	前年度9月補正後 (D)	前年度9月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	9 月 補 正 額					
		通常分	経済対策分	小計(B)			
(1) 一般財源	312,598,924	1,253,546	1,308	1,254,854	313,853,778	311,785,388	0.7
県 税	65,424,531				65,424,531	60,735,424	7.7
地方消費税清算金	27,511,818				27,511,818	26,188,582	5.1
地方譲与税	12,553,000				12,553,000	14,025,000	10.5
地方交付税等(アイ)	194,352,000				194,352,000	197,668,000	1.7
(うち地方交付税)ア	(173,041,000)				(173,041,000)	(172,179,000)	(0.5)
(うち臨時財政対策債)イ	(21,311,000)				(21,311,000)	(25,489,000)	(16.4)
財調基金取崩	2,417,486				2,417,486	2,791,153	13.4
その他	10,340,089	1,253,546	1,308	1,254,854	11,594,943	10,377,229	11.7
(2) 特定財源	151,127,220	536,509	4,787,800	5,324,309	156,451,529	153,597,993	1.9
国庫支出金	67,380,645	99,230	1,989,000	1,889,770	69,270,415	68,334,508	1.4
県 債 工	46,159,000	572,000	2,716,000	3,288,000	49,447,000	49,020,000	0.9
(うち退職手当債)オ	(3,000,000)				3,000,000	(3,000,000)	
減価基金(ルール外分)カ	8,833,031				8,833,031	7,714,609	14.5
その他	28,754,544	63,739	82,800	146,539	28,901,083	28,528,876	1.3
総計 (1)+(2)	463,726,144	1,790,055	4,789,108	6,579,163	470,305,307	465,383,381	1.1
県債計 (イ+カ再掲)	67,470,000	572,000	2,716,000	3,288,000	70,758,000	74,509,000	5.0
財源不足額 (イ+カ再掲)	14,250,517				14,250,517	13,505,762	5.5

歳出

(単位 千円、%)

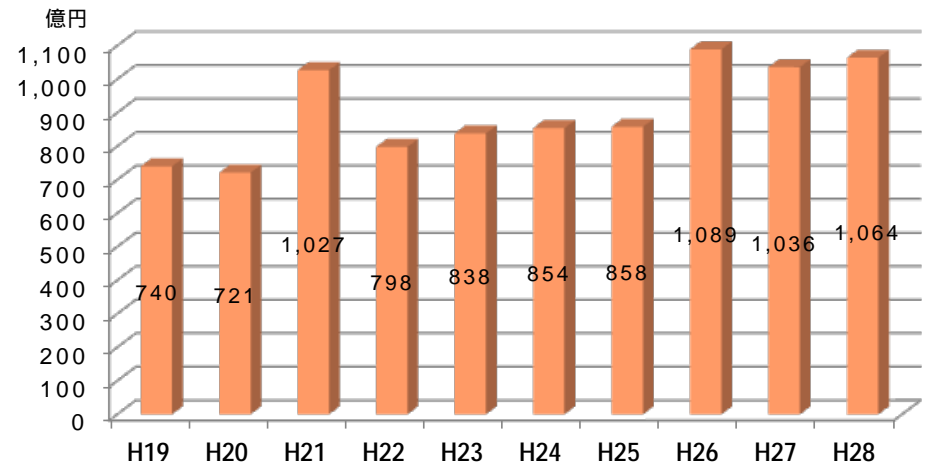
区 分	平成 28 年度				計 (A+B=C)	前年度9月補正後 (D)	前年度9月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	9 月 補 正 額					
		通常分	経済対策分	小計(B)			
(1) 経常的経費	359,253,543	802,334		802,334	360,055,877	355,195,957	1.4
人 件 費	118,882,381				118,882,381	120,050,145	1.0
(うち退職手当を除く)	(105,133,383)				(105,133,383)	(106,301,147)	(1.1)
扶 助 費	12,489,579				12,489,579	12,020,924	3.9
公 債 費	70,068,584				70,068,584	69,497,560	0.8
その他	157,812,999	802,334		802,334	158,615,333	153,627,328	3.2
(2) 投資的経費	104,472,601	987,721	4,789,108	5,776,829	110,249,430	110,187,424	0.1
普通建設事業費	100,851,011	797,921	4,789,108	5,587,029	106,438,040	103,626,932	2.7
補助事業費	67,678,770	563,022	4,789,108	4,226,086	71,904,856	73,414,908	2.1
単独事業費	33,172,241	1,360,943		1,360,943	34,533,184	30,212,024	14.3
災害復旧事業費	3,621,590	189,800		189,800	3,811,390	6,560,492	41.9
総計 (1)+(2)	463,726,144	1,790,055	4,789,108	6,579,163	470,305,307	465,383,381	1.1

県債残高の推移 (普通会計ベース)



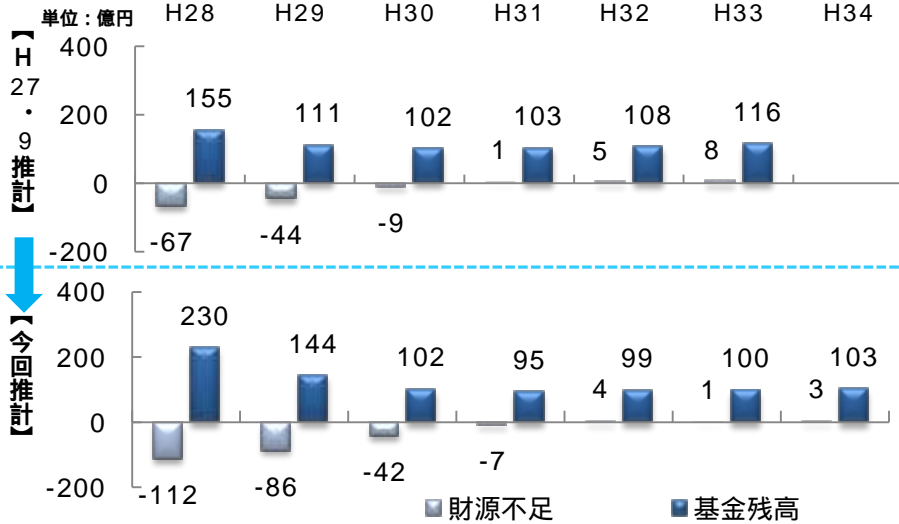
臨時財政対策債
本来地方交付税で措置されるべき額について、国の財政事情が厳しいことから、臨時的に地方債として配分されているもの。後年度、元利償還金の全額が地方交付税措置される。

普通建設事業費 9月補正後予算の推移



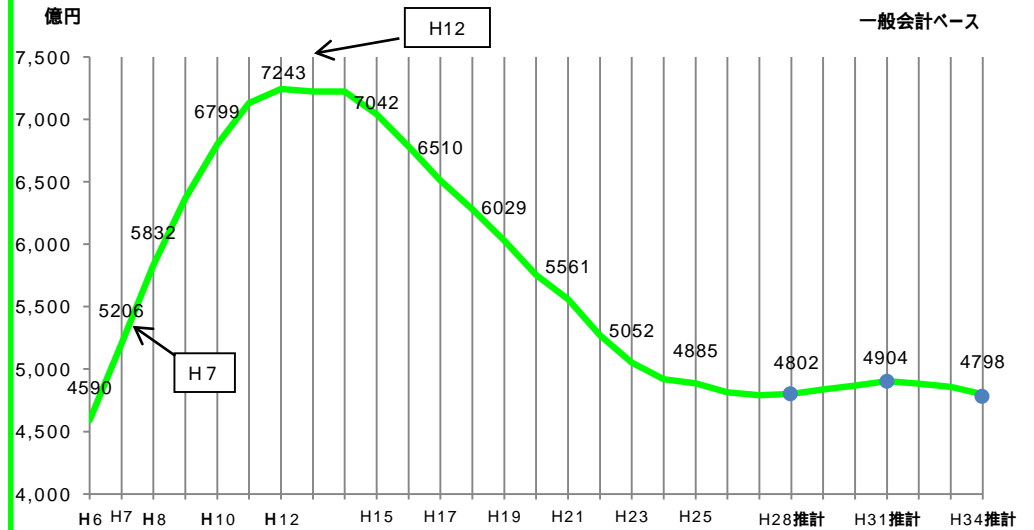
今後の財政収支の見通しについて

平成34年度までの財政収支の見通し



安定的な財政運営に一定の見通し

平成34年度までの県債残高（臨財債除く）の見通し



*これまでの行財政改革の結果、H28時点でピーク時（H12：7,243億円）から2,400億円程度の減
*将来負担比率は全国でも低水準（H26：158.0%で10位）であり、県債残高を含む将来負担は低水準

⇒必要な投資事業を実施しても、中期的には逡減傾向を維持

中長期推計のポイント

- 1 昨年の推計後、国の補正予算、地方創生関連交付金を積極的に活用したことなどにより、財政調整的な基金の残高の増加が図られ、今後の南海トラフ地震対策に必要な経費を見込んでなお安定的な財政運営の見通しを立てることができた。
- 2 県債残高は全国でも低水準にあり、国の経済対策に呼応して県債の発行額が大幅に伸び始めた平成7年度末を下回る水準。南海トラフ地震対策を含む必要な投資事業を実施しても、中期的には逡減傾向を維持できる見込み。
- 3 本県の財政運営は地方交付税制度など国の動向に大きく左右されるため、引き続き国に対して積極的な提案を行いつつ、的確なアクセルとブレーキにより安定的な財政運営を行う。

- 主要な事業の概要 -

経済の活性化

- ・「志国高知 幕末維新博」の推進 P5
- ・「志国高知 幕末維新博」のプロモーションの取組 P6
- ・高知城及び県立文化施設等の磨き上げ P7
- ・高知新港客船ターミナルの整備 P8
- ・移住促進策の強化 P9
- ・高知版 I o T の推進 P10
- ・遊漁・体験漁業等の振興 P11

南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

- ・県立学校体育館の避難所としての機能維持 P12
- ・「世界津波の日」高校生サミットin黒潮を開催 P13

その他

- ・高知県立病弱特別支援学校と心の教育センターの施設整備 P14
- ・春野総合運動公園陸上競技場の芝改修工事について P15
- ・国の経済対策に応じた公共事業の追加 P16

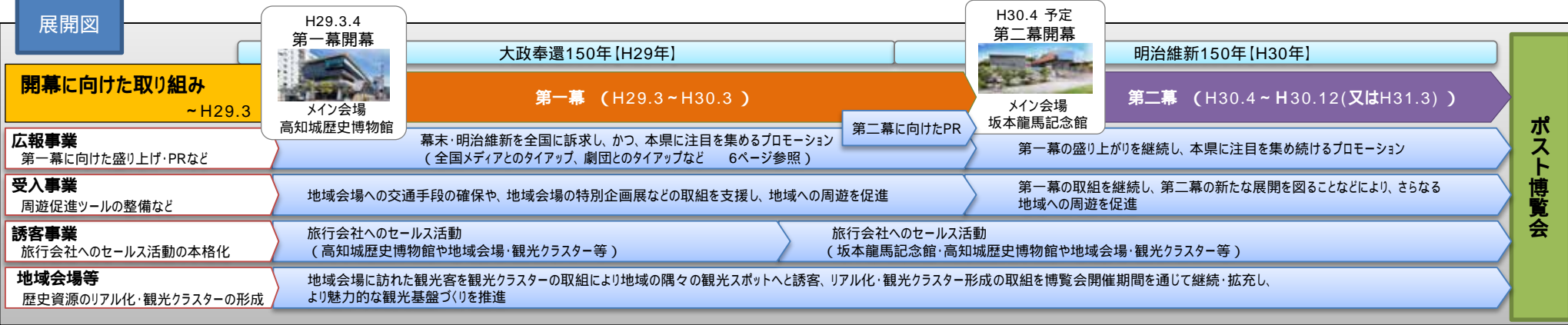
開催の趣旨

平成29年と平成30年は、大政奉還と明治維新からそれぞれ150年にあたる。この全国的にも意義深い2か年に、高知県の幕末維新期の歴史を辿る博覧会を県内全域で開催し、多くの観光誘客と、本県の歴史観光の基盤づくりを図る。

(博覧会の概要) メイン会場とサブ会場、さらに地域会場を設け、磨き上げた歴史資源を核とした企画展示など様々なイベントを開催し、その魅力を発信する。また、各会場を拠点に地域の食や自然、体験型観光などを組み合わせた周遊コースに観光客を招き入れる。



展開図



平成28年度9月補正の概要

NEW

「志国高知 幕末維新博」事業関係

志国高知幕末維新博推進事業費補助金
【328,500千円】
【債務負担 295,235千円】

プロモーションの強化 【広報事業 210,516千円】

幕末・明治維新を全国に訴求し、かつ、本県に注目を集める仕掛けをつくる

全国的な盛り上がりをつくり出していく取組

- テレビ局（キー局）等、全国に影響力のあるメディアとのタイアップ
- 魅力ある資源（人物を含む）などを活用した本県に集中して注目を集めるプロモーション展開
- 同時期かつ一定期間の間に複数の雑誌に特集記事を掲載
- 劇団とのタイアップによるオリジナル演劇の上演を通じた広報
- 観光特使や著名なブロガーのフェイスブックなどによる情報拡散

博覧会の開催を広く周知するための取組

- 公式ガイドブックや博覧会専用ホームページの制作及び情報発信
- 新聞広告や高速道路SAでのパンフレット配架等によるPR
- 高速バスのラッピングや電車内広告などの交通広告の展開

受入態勢の整備 【受入事業 82,212千円】

- 高知城歴史博物館の一般オープンに合わせたオープニングイベントの開催
- メイン会場周辺の渋滞対策
- 周遊観光バスの運行や鉄道会社とタイアップした企画切符の発行などの二次交通の整備
- 幕末・明治維新をテーマとした特別企画展の開催
- 館内ガイドを地域会場へ配置するなど地域の取組を支援

旅行会社へのセールス 【誘客事業 4,972千円】

- 高知城歴史博物館の内覧会、観光商談会の開催
- 地域会場等を巡るモニターツアーの実施

こうち旅広場関係

観光振興推進事業費補助金
【103,570千円】
【債務負担 466,380千円】

こうち旅広場の博覧会に向けた展開

「志国高知 幕末維新博」のサブ会場として、こうち旅広場をリニューアルし、博覧会情報の発信及び観光案内機能の充実を図るとともに、県内各地への周遊を促す

- 博覧会の情報発信機能の充実
- 特別企画展やイベントなどの旬な情報の集約及び提供
- 地域への周遊促進機能の強化
- 広域エリアごとに観光情報を紹介するコーナーを設置し、地域地域のきめ細かな情報を発信
- 「龍馬伝」の生家セットを歴史観光のエントランスとして活用
- 広域観光組織が作成した体験プログラムや周遊観光バスなどの旅行商品の販売
- 博覧会期間中の継続的な管理・運営（H28～H30）

ステージ

【ステージ1】
幕末・明治維新に関心を向けさせる

【ステージ2】
全国的な盛り上がりをつくり出す 高知県に注目を集め、誘客を図る

目指すべき姿

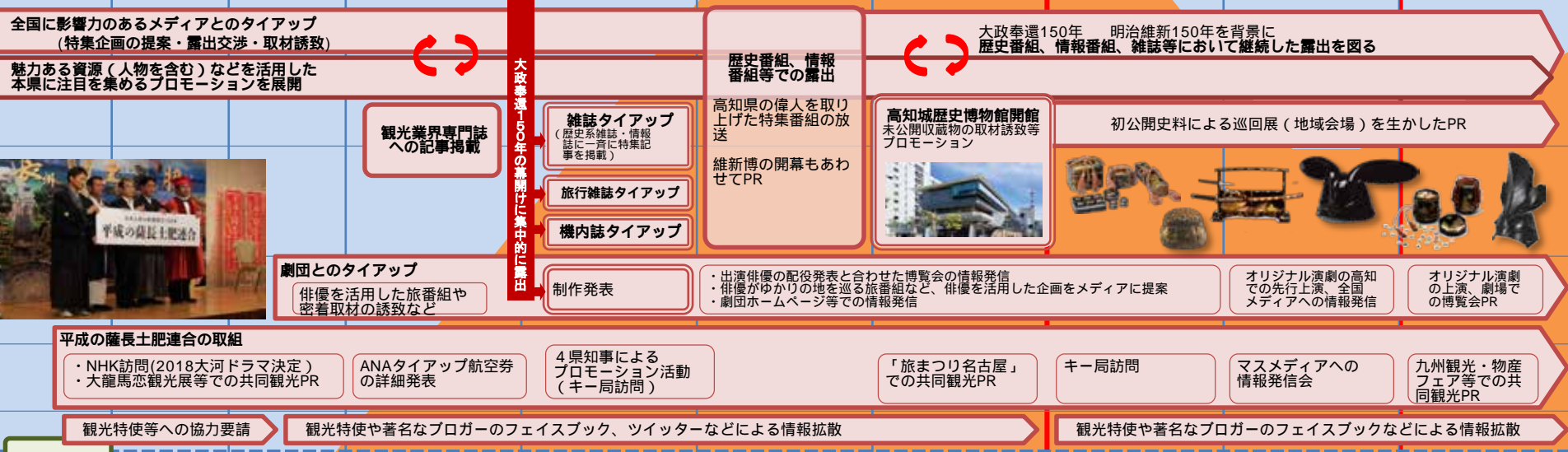
大政奉還150年・明治維新150年について、全国的に関心が広がり始める
マスメディアが、大政奉還150年・明治維新150年に関する情報を取り上げ、発信し始める

大政奉還150年・明治維新150年について、多くの人が認識し、話題になっている / 幕末・明治維新に関係のある地域を訪れる観光客が増えている
多くのメディアで、幕末・明治維新の時代を題材にしたテレビドラマや特集記事等が組まれている
幕末・明治維新の歴史資源を素材にした旅行番組や、歴史観光情報が取り上げられている

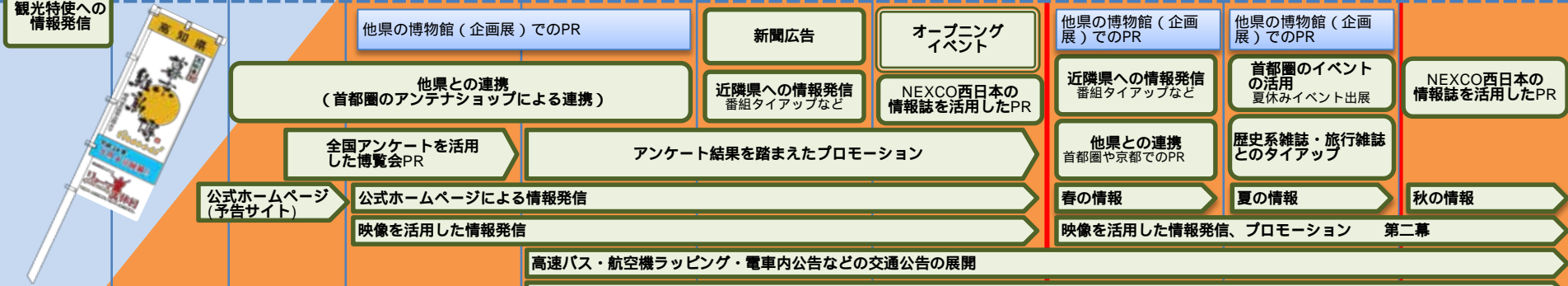
年度
月
トピック



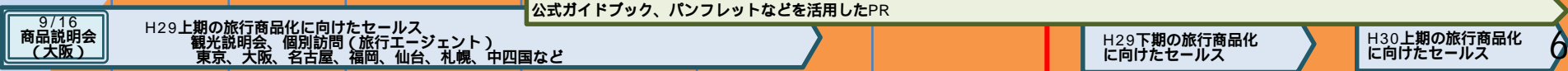
全国的な盛り上げ



博覧会PR



旅行会社向けセールス



高知城及び県立文化施設等の磨き上げ

文化財課、文化推進課
9月補正予算額 110,826千円 【債務負担】 22,096千円



「志国高知 幕末維新博」に向けて、メイン会場(高知城歴史博物館)、地域会場(高知城、歴史民俗資料館、美術館、文学館)を中心として、受入環境の整備や高知の歴史や文化の魅力を情報発信することで、文化施設や文化財の魅力を磨き上げるとともに、県外観光客や外国人観光客の受入促進を図る。

高知城の磨き上げや情報発信
予算見積額 71,150千円
(債務負担行為 13,063千円)

県立文化施設等の受入環境の整備
予算見積額 39,676千円
(債務負担行為 9,033千円)

高知城 地域会場

高知城の魅力の情報発信・観光客の満足度向上
25,670千円 【債務負担】 12,923千円

屋外解説板の改修・新設
老朽化した解説板を改修するとともに、高知城各所の見どころを解りやすく、多言語で解説する。



観光ボランティアガイドの増員
高知城の魅力を細やかに発信し、訪れる観光客の満足度の向上を図るため、おもてなしの心でお迎えするガイドを増員する。

高知城を舞台としたイベントの開催
本物の文化財が持つ高知城の魅力をより楽しめるおもてなしイベントを開催する。

天守を照らすサーチライトのLED化
日本三大夜城に選ばれた高知城をよりシンボリックに演出するため、天守を照らすサーチライトをLEDに更新する実施設計を行う。

観光客の利便性・快適性の向上
45,480千円 【債務負担】 140千円

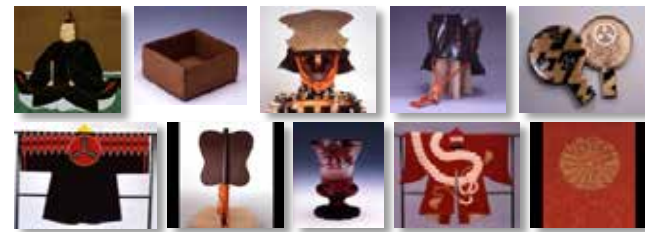
石段の踏面(ふみづら)の再舗装
老朽化が進み陥没やクラックが散見される石段の踏面の舗装を改修することにより、観光客等の安全性の向上を図る。

屋外Wi-Fiの整備
追手門から二ノ丸に至るまでの高知城外の主要な動線上で公衆無線LAN(Wi-Fi)を整備することにより、外国人観光客等の利便性・快適性の向上を図る。

高知城磨き上げ検討委員会の設置

高知城歴史博物館 メイン会場

特別番組の制作・放送
6,829千円
高知城歴史博物館の展示の中心となる山内家資料の魅力を周知・広報するため、特別番組を制作し、放送するとともに、特別番組を再編集した動画配信を行う。



歴史民俗資料館 地域会場

「望櫓」の設置・管理
16,042千円
【債務負担】 9,033千円
長宗我部元親の居城「国史跡岡豊城跡」の立地を活かし、詰(本丸)に元親の目線で香長平野を一望できる「望櫓」を設置し、解説員による岡豊山史跡めぐりと合わせた取組により、来館者の受入促進を図る。
設置期間：H29.4～H31.2(予定)

美術館 地域会場

絵金屏風絵の修復
2,813千円
博覧会の関連企画展(絵金コレクション・テーマ展)において展示する絵金屏風絵4点の修復を行う。
会期：H29.3.30～6.11

文学館 地域会場

歴史・文学案内コースマップの作成
972千円
博覧会のテーマに沿い、文学者・文学等と歴史上の人物との関わりを通じて幕末維新を生きた土佐人を紹介する散策お勤めコースマップを作成する。

多言語リーフレット整備 3,602千円
外国人観光客への対応のため、5か国語版リーフレットを整備する。
対応言語：英語・中国語(簡体字)・中国語(繁体字)・韓国語・タイ語

館案内リーフレット

館案内リーフレット
シャガール・石元リーフレット

館案内リーフレット

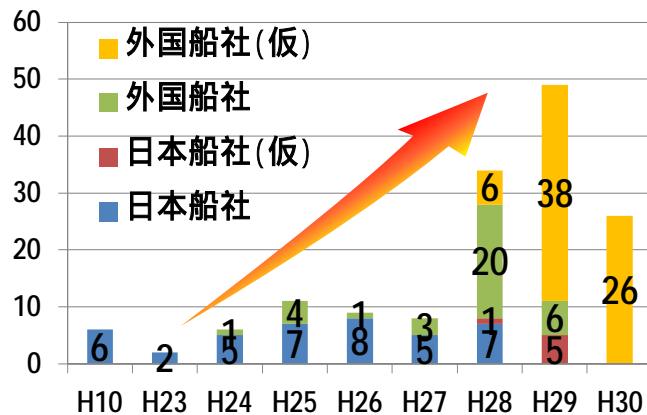
歴史文化冊子の作成 9,418千円
幅広い層に高知の歴史の魅力を伝えるため、幕末維新时期に多くの偉人を輩出した高知の歴史文化を紹介する冊子を作成。
「幕末維新の土佐 探訪図会(改訂版)」/ 幕末土佐の概要、人物紹介、ゆかりの史跡紹介、歴史コラム等
「土佐幕末維新 人物紹介(仮)」/ 土佐の偉人にスポットを当てた人物紹介、人物関連図、活躍年表等

地域会場への技術支援 4,247千円【債務負担 18,110千円】 観光振興部で予算計上
土佐山内記念財団にサポートチームを設置し、学芸員等の派遣により展示企画や史料調査・評価等を支援。

県内文化施設連携

高知新港へのクルーズ客船寄港数の推移

H27：8回（うち外国客船3回）
うち入国港として1回、出国港として1回
H28：34回（うち外国客船26回） 仮予約含む
うち入国港として13回、出国港として8回
高知新港へのクルーズ客船寄港回数
H28年以降はH28.8末時点の予定数



課題

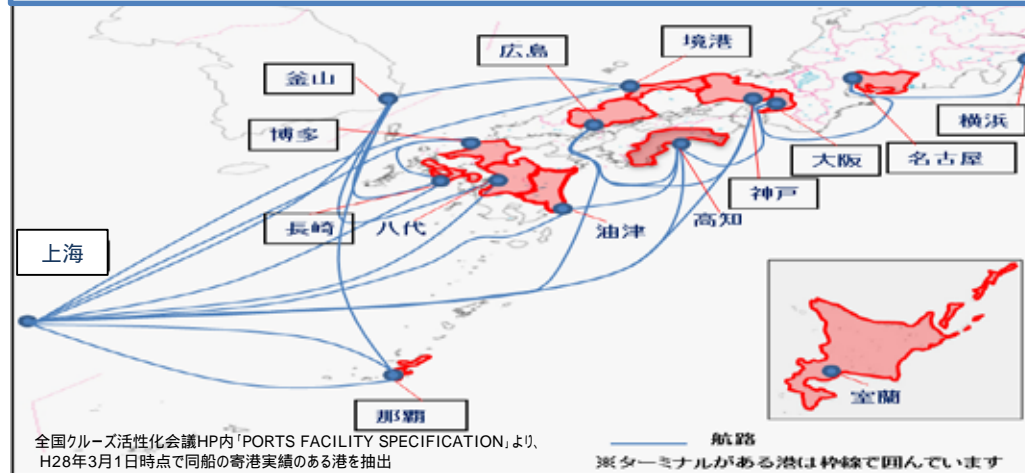
船が着岸してから入国管理局職員が船に乗り込み、機材等を準備するため、審査開始までに1時間程度を要し、乗船客の滞在時間が短くなっている

荒天時はテントが設置できず、十分なおもてなしができない（物販、両替、観光案内、おもてなしイベント等）

岸壁に屋根のある施設がなく、乗船客やクルー等の休憩時やバス待合時に劣悪な環境となっている

クァンタム・オブ・ザ・シーズの寄港実績のある港

16万トンを超す大型客船の寄港地はターミナルを有する港が多い（クァンタム・オブ・ザ・シーズ寄港地13港のうち9港）



★大型客船の寄港を増やすため、CIQスペースを有し、荒天時にも十分なおもてなしができる施設が必要
★施設の建設により、船会社及び乗船客の顧客満足度の向上を図る

ターミナルの機能等（案）

面積 約1,400㎡（40m×35m）

天井高 約5m

構造 鉄骨造1階建

その他

空調（冷暖房）設備、水道設備
300台駐車場（整備済み）

工期・事業費 計 約4.21億円

実施設計（9月補正）

：H28.11～H29.3 約0.36億円

建築：H29.4～H30.6 約3.85億円

機能

CIQ棟機能
・税関スペース（6ブース 10ブース）
・出入国管理スペース（16ブース 20ブース）
・検疫スペース
待合棟機能
受入運営本部、観光案内、物販、交流イベント
両替、Wi-Fi、休憩、バス待合

イメージ



上記写真：広島県五日市港ターミナル

寄港増につながる！
乗船客に快適な環境を提供
リピーターへ！

経済効果

寄港数30回/年

（うち入国港として15回）とした場合

円滑なCIQ対応による乗船客の滞在時間確保

・入国審査ブースの事前設置及びブース数増加により、審査にかかる時間を短縮可能（約1時間20分短縮）
滞在時間の延長による消費額の増加

ターミナル建設による経費縮減

これらの経済効果 約4,725万円/年

<参考>さらなる効果

寄港増による経済効果：約1,930万円/回 プラス
荒天時の物販中止による経済損失回避
約40万円/回

期待される効果

客船寄港日以外にも県民の皆様へ貸し出すなど、積極的な利活用

その他の利活用（案）

自衛艦寄港時のイベント

国・県・市主催のイベント、展示会
県警災害警備訓練、テロ対策訓練、
防災訓練等に伴う防災関連製品展示会等

県民への貸出（各種イベント・展示会場）
よさこい踊り練習場、ライブ・コンサート会場、フリーマーケット
産直イベント（農産物フェア、水産まつり）

港湾関係者の利用（休憩、貨物の仮置きなど）

など

・上記活用案のほか、施設の特長を周知したうえで、活用の幅をさらに広げていく。

移住者数1,000組(H31目標)を目指した3つの戦略



1 リーチ（届く範囲）を広げる！

情報発信の大幅拡大（「高知ファン」にとどまらず「移住関心層」へのアプローチ）

2 アクティブに働きかける！

事業承継・人材確保センターを中心とした人材誘致
各分野の担い手確保策との連携
起業家の誘致

3 ゲートウェイ（受け皿）を広げる！

「高知版CCRC」の展開
「住まい」の確保策を更に拡充し移住者向け住宅を確保（中間保有の促進、住宅改修補助の限度額拡充）
移住希望者に対して、生活圏としての情報提供が行えるよう、近隣市町村が連携した移住促進の取組を支援

平成28年度下半期に向けて...

新規追加・拡充した事業を着実に実行し、その事業の効果・課題などを検証・改善しながら、施策を推進

4月以降の動き

平成28年7月「高知版CCRC構想」の策定

対応すべき課題

現状のストックでは、地域によって移住者向け住宅が不足する懸念

「高知版CCRC」の推進

< 推進の意義 >
魅力的なコミュニティや生活環境等を整えることで、アクティブシニア層を始めとする意欲ある人材を呼び込むための強力なツールになることが期待できる。
県は構想づくりから事業の具体化までサポート

9月補正で
3つの戦略のうち
「ゲートウェイを広げる」
対策を強化

移住者向け住宅の確保

< 確保に向けた課題 >
市町村において人口（移住者）目標を達成するために必要な住宅確保の見通しや対策は必ずしも明確になっていない。
先行して空き家バンク等の施策に取り組んできた市町村や地域では移住者向け住宅のストックに不足が生じている。

9月補正

移住促進事業費補助金 7,500千円 定額補助
(生涯活躍のまち事業計画等策定支援事業)
高知版CCRC構想の策定を受け、先行的に取り組もうとする意欲的な市町村に対して構想策定等に必要調査等の経費を支援
先行市町村の取組状況を他市町村に情報提供

先行する市町村等とCCRC構想の理解を広める勉強会を実施
庁内関係課で構成する支援チームが市町村等の取組を支援
CCRCのネットワーク化の素案を作成（CCRC間の相互利用や二段階移住などを推進）

9月補正

空き家対策市町村緊急支援事業 33,110千円 補助率 県1/4、国1/2
市町村が空き家の実態調査を行うための経費を支援
空き家実態調査分析業務委託 2,996千円
市町村の実態調査結果を分析し、移住者向け住宅の掘り起こしを行う。

先行事例の可視化を通じて普及を図り、ゲートウェイの広がり構築

空き家対策の強化による住宅ストックの確保を図るとともに
県としての住宅確保策のあり方を検討

高知版 I o T の推進

工業振興課、新産業推進課
9月補正予算額 16,721千円

県内の現状と課題

本県産業の拡大再生産に向けて、人口減少による担い手不足がボトルネックとなっている。以下の事由により、IoT分野に関心がもてなかったり、IoT導入を躊躇している。
県内事業者の多くは、IT活用が限定的。
県内情報産業は、課題を持つ現場の情報（実情）を把握できていない。
成功事例がオープンにされておらず、情報が無い。

IoT活用のねらい

各産業分野の「人手不足」「生産性向上」という課題や防災対策等に対し、IoT活用による課題解決・対策強化を図る。

IoTとは Internet of Things = IoT (モノのインターネット)

インターネットにパソコン類以外の様々な"モノ"を接続すること。
"モノ"をインターネットにつなぐことにより、離れた"モノ"の状態を知ることや離れた"モノ"を操作することが可能となる。
これまでインターネットに接続されていなかった自動車や家電、電力メーター、産業機器やインフラ等がインターネットにつながることで新たな製品やサービスの創出が期待される。

普及啓発
個別相談

モデル実証事業
課題抽出

プロジェクト創出

プロジェクト自立化

自走

高知県IoT推進ラボ研究会（事務局：工業振興課）

総合相談窓口（ワンストップ対応）

1,385千円

I o Tモデル実証事業 【4,676千円】

I o T推進プロジェクトマネージャー（仮称）を中心としたコンソーシアムによるI o T実証モデル構築
工業技術センターによるI o T技術実証研究
・工場内生産システム開発
・鳥獣被害対策へのI o Tの活用



セミナー

企業訪問

研究会入会

個別
相談会

課題抽出 【10,660千円】

・研究会メンバーに参加を募り、農・林・水・防災等の現場訪問



・課題抽出アドバイザー（仮称）による現場の課題抽出



・関係部局等によるI o T案件発掘

商工労働部

農業振興部

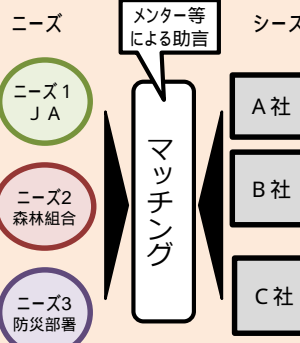
林業振興・環境部

水産振興部

産業振興センター

ほか

研究会員同士によるニーズとシーズのマッチング



プロジェクト



国のメンター派遣制度

・地方版IoT推進ラボ選定地域に対する経済産業省からの派遣

I o T推進アドバイザー（仮称）による支援

・プロジェクト推進上の具体的課題（知的財産・技術等）にアドバイス

公設試による支援

・共同研究、実証実験
関係部局等による支援

【補助制度】

国
・経済産業省、農林水産省 等
県
・ものづくり産業強化事業費補助金（試作開発）
・農業振興部、林業振興・環境部
水産振興部 補助制度 等

ものづくり企業によるI o T導入

・発注企業のスマート工場対応要請

県外発注企業 Y社

ニーズ4 下請工場

・IoT搭載製品の開発
・自社のスマート工場化

ニーズ5 機械メーカー

A社

プロジェクトがビジネスとして自立化

高知発のIoTシステムを県内へ地消、県外・海外へ外消

メンター・アドバイザー等による要望に応じた支援

IoT Acceleration
Kochi pref Lab

関連団体との連携による情報発信、サポートを実施
（情報産業協会、工業会、製紙工業会、農業協同組合中央会、森林組合連合会、漁業協同組合、大学・高専、産学官民連携センター）

遊漁振興の目的

水産業を核とした地域産業クラスターの形成を目指し、その一翼を担う漁村における有望なサービス産業として、豊かな海洋資源を生かした遊漁や体験漁業の取組を推進する。このことにより、地域に多様な仕事を創り出し、若者の定住や移住者の受け入れ増につなげる。

取組の方向性

- (1) 協業化と事業者の連携による地域ぐるみでの取り組みの促進
- (2) 女性、ファミリー層などのターゲットを掘り起こすためのソフト、ハード整備の支援
アドバイザーによる個別指導やノウハウを習得するための研修会によるサービス業としてのレベルアップ
情報発信、イベントの開催などのソフト面の支援
基盤整備の支援



交流人口拡大による漁村の活性化
若者が住んで稼げる元気な漁村づくり

遊漁等振興対策

9月補正

三者以上の連携により、漁村振興に資する取組を行う遊漁船業者等に対し、集中的に支援する。

遊漁船業等アドバイザー事業委託料 [625千円]

委託内容：意欲ある事業者を対象に経営実態を踏まえた助言・指導

研修会の開催 [158千円]

サービス業としての意識改革、ノウハウの習得のための研修会の開催

遊漁船業等振興事業費補助金 [3,732千円]

三者（遊漁船業者二者以上を含む）以上の連携により、漁村振興に資する取組を行う遊漁船業者等に対するソフト・ハードの支援

区分及び補助率

区分	補助率
(1) 安全性の向上に資する設備等の整備	1/2以内
(2) サービス機能の強化に資する設備等の整備	1/6以内
	新規就業者 1/3以内
(3) ソフト対策の実施	1/2以内

事業化の手順

掘り起し

- ・県内の遊漁船業者等を対象とした研修会の開催
- ・漁業指導所、地域本部による取組の掘り起こし

ブラッシュアップ

- ・アドバイザー等による事業連携計画等の策定支援など取組の具体化
- ・観光協会との連携

事業化

- ・遊漁等振興事業によるソフト、ハード整備への支援
- ・地域本部、アドバイザー等によるサポート

【具体例】

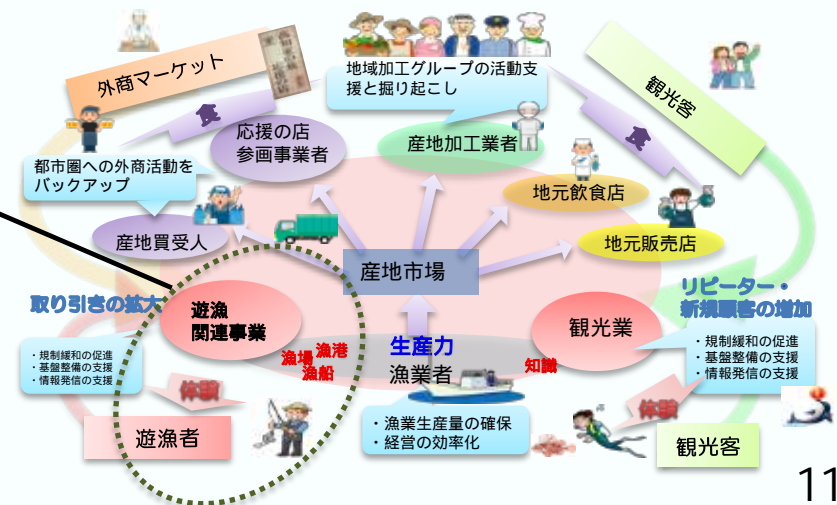
【釣筏を活用した遊漁振興】

- ・HPやメディアの活用による情報発信
- ・親子釣り大会等のイベントを開催し、女性・ファミリー層へターゲットを拡大

【しらす漁の見学体験】

- ・観光客を遊漁船に乗船させ、しらす漁の見学、船上でのどろめの試食及び市場での入札を見学する企画を行うことで、女性・ファミリー層へターゲットを拡大

水産業を核としたクラスターの展開イメージ



背景と課題

本年4月の熊本地震では、震度7の揺れが2回あるなど複数回の強い揺れが発生し、公立学校の体育館では、耐震対策済みにもかかわらず、屋根ブレースの破断や天井材の落下・窓ガラスの破損などの**非構造部材の損傷等による二次災害**のため、223校のうち73校の体育館が避難所として使用できなくなった。

南海トラフ地震発災時には、多くの県民の皆様が学校体育館に避難することが想定されることから、**学校体育館の避難所機能を維持**し、県民の皆様が安全に避難所で生活できる環境を確保することが急務。

対策（事業概要）

県有施設の避難所としては学校のほか県民体育館、青少年センターなどが指定されているが、そのうち**学校体育館は大規模かつ施設数が多く県有施設の中でもより多くの住民の避難が見込まれる**ことから先行して調査を実施し、必要な対策を講じる。

（ 県立学校の非構造部材のうち、体育館・ホール等の“吊り天井対策”は7校9棟で実施済み）

県立学校体育館実態調査等委託事業（9月補正予算:16,492千円）

経年劣化の状況確認や古い工法で設置されている非構造部材の設置の有無などを**実地調査点検**
（点検方法：目視、測定、打診等 可動足場等を使用し非構造部材各部の詳細な現況確認（取付方法、劣化、剥離等）を行う）

により、体育館毎に現状を確認し、**補強方法及び落下防止対策、改修工事費算出等**を検討

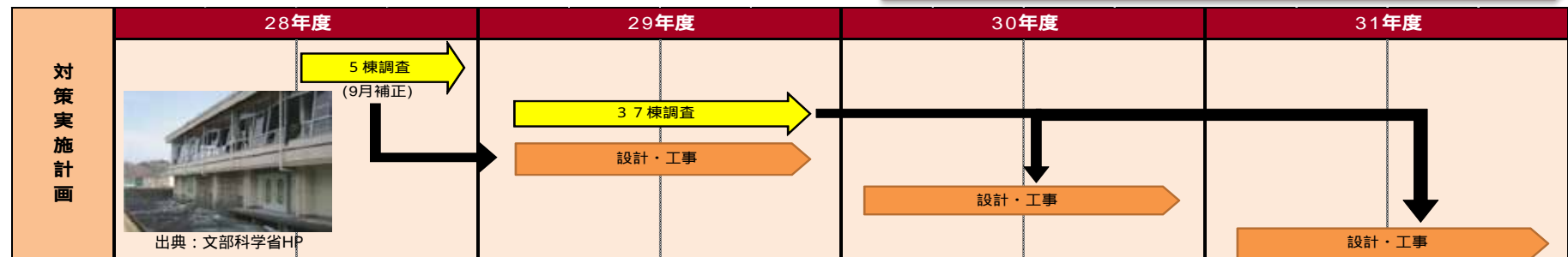
9月補正予算では、県立学校体育館のうち**5棟**を抽出し、現状の調査点検や必要な対策を集中的に検討

（ 避難所指定の有無、建築年の古さ、新耐震基準であるかどうか、天井改修（吊り天井対策や照明LED化など）実施の有無、避難者数等を考慮して先行実施する体育館を選定）



出典：文部科学省HP

対策の決定後、順次、設計・施工を実施



「世界津波の日」高校生サミットin黒潮の開催

南海トラフ地震対策課
9月補正予算額 14,033千円

概要

(1) 目的 次世代を担う国内・国外の高校生を本県に招き、分科会やフィールドワークなどを行う「世界津波の日」高校生サミットin黒潮を開催することにより、防災分野で活躍する将来のリーダーを育成

(2) 主催 高知県、高知県教育委員会、黒潮町、黒潮町教育委員会

「世界津波の日」(11月5日)
津波の脅威などに対する加盟国の意識向上のため、平成27年12月に制定された国連の共通記念日

開催日・場所・プログラム

開催日 : 平成28年11月25日(金)~11月26日(土)

開催場所 : 高知県黒潮町(土佐西南大規模公園体育館他)

【1日目】

- <開会>
- ・開会宣言
- ・プログラム説明
- ・講演
OECD東北スクールによる
取組の発表
- ・分科会のための
フリーフィンク



<安政津波の碑>

【2日目】

- ・分科会
- ・フィールドワーク
津波避難訓練、安政津波の碑
津波避難タワー見学
- ・交流ランチ
- ・記念植樹、記念撮影

- <総会>
- ・東日本大震災被災地からの報告
(16歳の語り部)
- ・分科会報告
- ・宣言採択

- <閉会>
- ・フェアウェル
パーティー



<土佐西南大規模
公園体育館>

テーマ

【全体テーマ】

自然災害から生きぬくために、
次世代を担う私たちができる
こと

~自助・共助・公助の視点から~

【分科会テーマ】

1. 自然災害リスクの理解
「世界津波の日」の普及、
災害教訓の伝承、防災教育等
2. 自然災害への備え
減災のために学校や地域
家庭でできる取組の提案等)
3. 自然災害からの復興
持続可能なボランティア活動の
取組等、学生が果たす役割

参加者

高校生 : 357名 (国内高校生 : 110名 国外高校生 : 247名)
各国大使、政府要人 ほか 合計約600名

国外の高校生 : 29カ国

アジア (中国、韓国、インド、スリランカ、モルディブ、インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス、トルコ)
オセアニア (サモア、トンガ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア)
ヨーロッパ (ポルトガル、ギリシャ) 北米 (アメリカ)
中南米 (チリ、ペルー) アフリカ (ケニア)

国内の高校生 : 全35校

県内 (土佐塾高、高知西高、須崎高、須崎工業高、高知小津高)

議長 : 大方高校

9月補正予算

世界津波の日高校生サミット開催事業費負担金 12,255千円
サミットを開催するにあたり必要となる経費について負担
世界津波の日高校生サミット受入業務委託料 1,778千円
国内高校生等の県内のバス移動の調整・実施

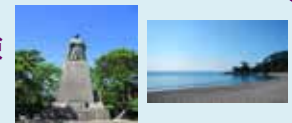
世界で初めての高校生サミットを地域の方々や高校生等と密接に連携して開催

期待される効果

国内をはじめ、世界各国に向けて高知県の防災の取組をアピール
参加する高校生だけでなく県民全体への啓発

+

高知県の自然や文化の体験
防災関連製品のPR



病弱特別支援学校（高知江の口養護学校移転）

9月補正予算 3,746千円（測量委託）
（債務負担）33,181千円（基本設計・地質調査）

心の教育センター（建替え）

9月補正予算 測量委託は病弱特別支援学校と一括発注
（債務負担）14,984千円（基本設計・地質調査）

現状と課題

慢性疾患の児童生徒が減少し、心身症等の児童生徒が増加している。多様な教育的ニーズへの対応が求められている。津波浸水区域となっている。（長期浸水区域2m未満）

目指す学校像（整備方針）

多様な教育的ニーズに対応する教育内容の充実
 ・運動の可能な児童生徒の学習保障、進学や就職など進路希望の実現
 ・慢性疾患の児童生徒の感染予防、心理的な安定に関する指導の充実
特別支援教育のセンター的機能の発揮
 ・小中学校等、高等学校等の児童生徒・教員への支援の充実
安全・安心な施設整備

現状と課題

不登校等の悩みを抱える児童生徒や保護者、学校関係者からの相談が増えている。教職員やスクールカウンセラー(SC)・スクールソーシャルワーカー(SSW)等の研修の充実が求められている。建築から40年以上経過しており、耐震診断の結果、倒壊の危険性が判明。

目指すセンター像（整備方針）

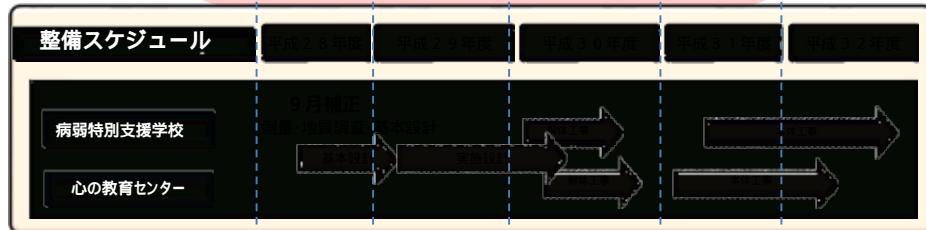
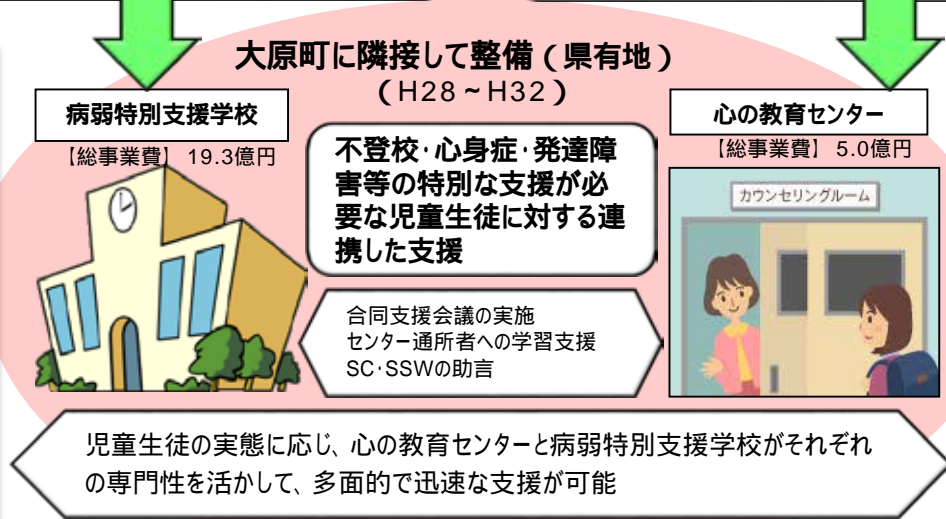
安心して相談や支援が受けられる環境の整備
 ・相談室や、観察室を備えたブレイルーム等の整備・充実
教職員やSC・SSW等のスキルアップや人材育成の充実
 ・フレキシブルに使える研修室の整備
安全・安心な施設整備

新 病弱特別支援学校の特徴

- グラウンド**
・児童生徒の運動面での学習を保障し、病状の改善や情緒の安定化につなげる。
- 作業室**
・キャリア教育を充実し、就職など進路希望を実現
- カウンセリングルーム・クールダウン室**
・児童生徒の心のケアの充実を図る。
- セーフティールーム**
・感染症対策を行い、安全で安心な学校生活を送れるようにする。
- 通級指導教室**
・小中学校等に籍を置いたまま専門的な教育を受けることができる。
- 医療・福祉・労働等関係機関や専門家と連携した教育の充実**
 ・近隣の医療機関との連携の強化
 ・臨床心理士や作業療法士等の専門家活用
 ・障害者職業センター、就職アドバイザーと連携

新 心の教育センターの特徴

- 相談室**
相談・支援の充実
- ブレイルーム**
- 多機能ルーム**
・相談室の確保により増加する相談に対応
・ブレイルームや多機能ルームで子どもの発達段階やニーズに応じた活動を実施
- 研修室**
研修の充実
・分割使用も可能とし、少人数～50人規模の研修を効果的に実施
- 学校やSC・SSW等のプラットフォーム機能の発揮**
 ・センター配置のスーパーバイザーによる個別事例の検討や助言
 ・学校だけでは解決できないケースや事案等への緊急支援
- 建物の壁にCLTを活用**



春野総合運動公園陸上競技場の芝改修工事について

公園下水道課
平成28年度9月補正予算 36,444千円
【債務負担】49,200千円

工事の必要性

陸上競技場の通常の利用では問題はないが、毎年キャンプを行っているJ1チームから、体づくりが主目的であるキャンプでは、怪我をしない柔らかかな芝生面が必要との要望を受ける。このため、現在の芝生面は、トッププロのキャンプという特殊なニーズに十分対応できていないと判断し改修を行うもの。

トッププロがキャンプを行うことは施設の高い性能と信頼を示すものであり、仮にキャンプから撤退すれば施設の品質に対する信頼を失い、その風評により各種スポーツ大会や他団体のキャンプが行われなくなる恐れがある。

【経緯】

平成26年度に、陸上競技場の第1種公認を継続するため、基準より高くなった芝生面の改修（切り下げ）及び走路面の改修を実施。

改修後公認検定に合格し、陸上競技の四国大会や県総体等の大会が開催されるとともに、ラグビーや女子サッカーの国内トップレベルの試合も開催され、良質な競技場としての評価も引き続き得ている。

対応

工事の概要

今回の工事では、県外のJリーグのホームスタジアムを参考に床土全体を砂層とし、柔らかさと排水性を確保する。既存の芝生はすべて春野総合運動公園内の補助競技場等の補修に有効利用する。



陸上競技場

補助競技場

整備スケジュール

平成29年4月から陸上競技場の床土の入替、芝の張替を行う（芝の成長が活発で、根が床土に伸長していく4月～7月が最適）。このため、2月には工事請負契約をしなければならず、9月補正対応とするもの。これにより、平成30年のキャンプ開催が可能となる。

場所	内容	H28				H29								H30					
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
陸上競技場	床土入替・芝設置	冬芝施工				冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工
						冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工	冬芝施工

H26改修後の陸上競技場の使用実績

【公認取得】

- H26.12.17 日本陸連第1種公認検定合格
- H26.12.18 国際陸連クラス 認定

< 主な陸上競技利用 >

- ・ 四国高等学校選手権
 - ・ 四国中学校総合体育大会陸上の部
 - ・ 高知龍馬マラソンフィニッシュ
 - ・ 高知県陸上選手権
 - ・ 高知県高等学校体育大会
 - ・ 陸上国体選考会
- 陸上競技使用実績 49件

< 主なサッカー利用 >

- ・ J1 アルビレックス新潟キャンプ
 - ・ J3 ガイナーレ鳥取キャンプ
 - ・ プレシーズンマッチ（アルビレックス新潟vsファジアーノ岡山）
 - ・ 天皇杯サッカー3回戦（横浜Fマリノスvs東京ヴェルディ）
 - ・ なでしこリーグ（神戸vs埼玉、神戸vs大阪高槻）
 - ・ 全国中学校サッカー大会
 - ・ 高円宮杯プリンスリーグ四国
 - ・ 四国リーグ
 - ・ 天皇杯サッカー県予選 決勝
 - ・ 県中学サッカー選手権大会
 - ・ 全国サッカー地域リーグ決勝大会
- サッカー 利用実績 53件

< ラグビー >

- ・ ラグビートップリーグ（NEC vs キヤノン）

< その他 >

- ・ 障害者スポーツ大会
 - ・ グラウンドゴルフ四国ブロック大会
- その他利用 19件

H26.8.22～H28.9.22の利用実績

国の経済対策に応じた公共事業の追加

国の経済対策に応じて、本県から政策提言を行ってきた南海トラフ地震対策などを中心に、いち早く48億円を計上
その他の経済対策についても国の動向を踏まえ、12月補正に計上を予定

四国 8 の字ネットワーク関連事業（7 億円）

国直轄道路事業をバックアップし、県事業と併せて8の字関連事業を推進

国直轄道路事業費負担金

【4路線 6億円（8の字関連）】

- ・高知南国道路 ・南国安芸道路
- ・中村宿毛道路 ・片坂バイパス

県事業（8の字関連）

【1路線 1億円】

- ・国道493号（北川道路2-2工区）

四国横断自動車道 片坂バイパス（黒潮町）



高知東部自動車道 高知南国道路（高知市）



河川の地震・津波対策（32億円）

液状化対策により、地震発生時の堤防の沈下量を抑えることで、長期浸水の期間を短縮



- ・国分川、鏡川等の堤防耐震化（液状化対策）
- ・浦戸湾内流入河川の排水機場の耐震化・耐水化 等



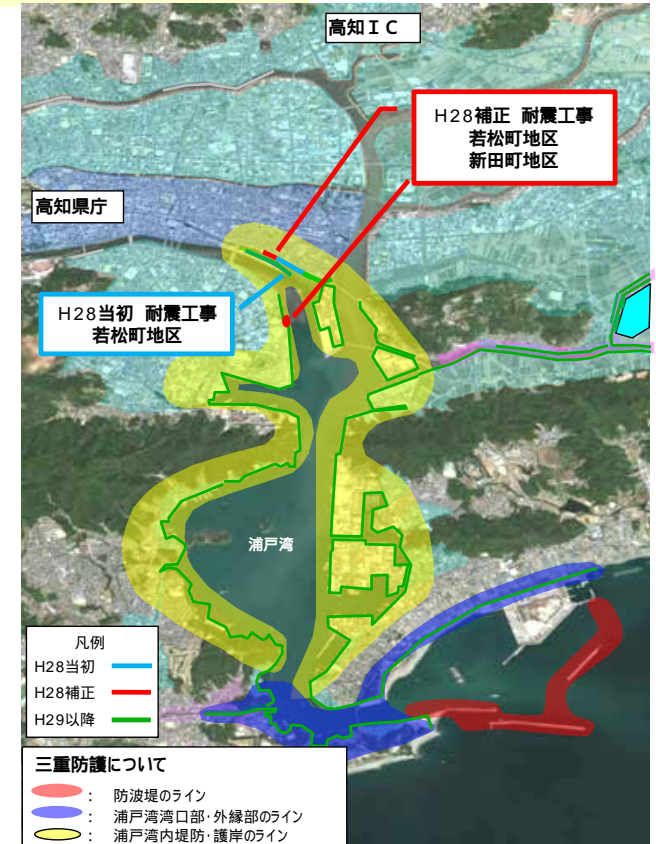
河川堤防の耐震補強状況



海岸堤防の耐震補強状況

浦戸湾の地震・津波対策（9 億円）

海岸堤防の耐震対策を推進



- ・高知港海岸（若松町地区外）での堤防耐震補強 等

1 経済の活性化

NEW

「志国高知 幕末維新博」の
開幕に向けた準備を推進 328,500
【債務負担】 295,235
(志国高知幕末維新博推進事業費補助金)

「志国高知 幕末維新博」の準備を進める志国高知幕末維新博推進協議会
に対して、観光客の受入及び広報・誘客等に係る費用を補助する。

補助先：志国高知幕末維新博推進協議会
補助率：定額
補助期間：平成28年度～平成30年度

(観光振興部 観光政策課)

拡

こうち旅広場の改修と運営を支援 87,498
【債務負担】 466,380
(観光振興推進事業費補助金)

「志国高知 幕末維新博」に向けて、こうち旅広場の改修と運営を行う(公財)高知県観光コンベンション協会に対して費用を補助する。

補助先：(公財)高知県観光コンベンション協会
補助率：定額

(観光振興部 観光政策課)

拡

「志国高知 幕末維新博」に向けて、歴史資源の磨き上げと
観光クラスターの整備を実施【債務負担】 36,816
(歴史観光資源等強化事業費補助金)

「志国高知 幕末維新博」の取組を通じて、県内に存在する歴史資源の磨き
上げ(リアル化)と、磨き上げた歴史資源を含めた観光資源を一体的に周遊で
きるコース(観光クラスター)の整備等を総合的に支援する。

歴史資源磨き上げ(リアル化)事業

補助先：博覧会の地域会場を有する市町村

補助率：2/3以内

高知市立龍馬の生まれたまち記念館(高知市) 24,000千円

四万十市立郷土資料館(四万十市) 12,816千円

(観光振興部 地域観光課)



NEW

県立文化施設等の受入環境の整備 39,676 【債務負担】 9,033

「志国高知 幕末維新博」に向けて、県外観光客や外国人観光客の受入促進のため、文化施設等の受入環境を整備するとともに、高知の歴史・文化の魅力を発信する。

(1)パンフレット等作成委託料

文化施設リーフレット等作成委託料 4,574千円
委託内容：(ア)文化施設の多言語版リーフレットの整備
(イ)歴史文学案内コースマップの作成
委託先：(公財)高知県文化財団
委託方法：随意契約

文化施設連携冊子作成委託料 9,418千円
委託内容：(ア)幕末維新の土佐 探訪図会(改訂版)の作成
(イ)土佐幕末維新人物紹介冊子(仮)の作成
委託先：明治維新150年高知県ミュージアム連絡協議会
委託方法：随意契約

(2)美術品保存事業委託料 2,813千円

委託内容：絵金屏風絵の修復
委託先：(公財)高知県文化財団
委託方法：随意契約

(3)櫓設営委託料 16,042千円 【債務負担】 9,033千円

委託内容：望櫓の設置・管理
委託先：(公財)高知県文化財団
委託方法：随意契約

(4)番組制作放送委託料 6,829千円

委託内容：高知城歴史博物館の展示の中心となる山内家資料の魅力を周知・広報するための特別番組の制作及び放送
委託先：放送事業者等
委託方法：随意契約(プロポーザル方式)



(文化生活部 文化推進課)

NEW

高知城の磨き上げや情報発信 71,150 【債務負担】 13,063

「志国高知 幕末維新博」に向けて、高知城の魅力をこれまで以上に県外観光客や外国人観光客に情報発信するため、屋外解説板の充実や多言語対応、観光ボランティアガイドの増員、各種施設整備等を行う。

(1)高知城の魅力の情報発信・観光客の満足度向上

・屋外解説板の改修、新設と多言語化 1,561千円
・観光ボランティアガイドの増員 236千円 【債務負担】 1,436千円
・高知城を舞台としたイベントの開催
10,513千円 【債務負担】 11,487千円
・天守を照らすサーチライトのLED化(実施設計) 3,046千円
・天守など文化財の見える城郭景観の保全(樹木の伐採) 6,938千円
・板垣退助像付近の整備(照明、柵) 2,339千円 等

(2)観光客の利便性・快適性の向上

・石段の踏面(ふみづら)の再舗装 36,175千円
・屋外Wi-Fiの整備 5,717千円 等

(3)「高知城磨き上げ検討委員会」の設置



(教育委員会 文化財課)

拡**高知城追手門前の横断歩道への信号機新設 15,565**

高知城歴史博物館開館に合わせ、高知城～博物館間の観光客等のスムーズな誘導対策及び交通安全対策のため、景観に配慮した上で横断歩道に新たに信号機を設置する。

施設整備工事請負費

・信号機の設置、標識の撤去・移設、道路標示の設置等

(公安委員会)

拡**「よさこい」を「日本の祭り」として世界に
アピールするための取組を強化 15,813**

2020年東京オリンピック・パラリンピックを通じて、「よさこい」を「日本の祭り」として世界にアピールするため、県内よさこいチームの海外派遣を外部委託して機動的に対応するとともに、日本全国の「よさこい」が連携して東京オリパラを盛り上げるきっかけとするキックオフイベントを開催する。

(1)よさこいチーム海外派遣委託料 7,891千円

委託内容：よさこいを通じた海外でのPR活動のため、県内チームの海外への派遣を委託

(2)イベント開催等委託料 7,922千円

委託内容：全国のよさこいと連携して取り組む「よさこい for Tokyo 2020 プロジェクト(仮称)」キックオフイベントの開催及び情報発信サイトの作成



(観光振興部 おもてなし課)

拡**クルーズ客船寄港時の受入態勢の充実 58,179**

クルーズ客船の寄港回数の増加に対応し、外国人観光客等の満足度の更なる向上のために、高知新港や高知市中心部での受入態勢を充実させる。

< 港対応 >

(1)客船受入等業務委託料 44,398千円

委託内容：客船寄港時の歓迎行事等の実施
乗船客の利便性の向上及び交通渋滞の緩和のための
シャトルバスの運行 等

委託先：(株)ユーエスケー

委託方法：随意契約

< 市街地対応 >

(2)客船受入等業務委託料 13,781千円

委託内容：高知市中心部での渋滞対策の強化、臨時観光案内所の設置、
市街地における通訳スタッフの配置、日本文化等が体験できるミニ
イベントの実施等

委託先：(株)高知広告センター

委託方法：随意契約

(観光振興部 おもてなし課、土木部 港湾振興課)

NEW**高知新港客船ターミナル新築工事の設計 35,904**

高知新港への大型外国客船のさらなる誘致のため、客船ターミナルの新築工事に係る実施設計を委託する。

高知新港客船ターミナル新築工事に係る設計委託料

委託方法：随意契約(プロポーザル方式)

(土木部 港湾振興課、港湾・海岸課)



NEW

高知版CCRC構想の早期の推進を支援 7,500 (移住促進事業費補助金)

移住のゲートウェイとなる高知版CCRC(本年7月策定)の普及と展開を図るため、モデルとなる市町村に対して構想策定等に要する調査等の経費を支援する。併せてこの取組を先行事例として他市町村にも情報提供することで高知版CCRCの県内での更なる推進を図る。

補助先：市町村 等

補助率：定額(補助限度額2,500千円)

補助対象：生涯活躍のまち推進のための構想や計画づくりに必要な調査等の経費



(産業振興推進部 移住促進課)

NEW

活用可能な空き家の掘り起こしと 移住者向け住宅の確保を支援 36,106

県内の活用可能な空き家を掘り起こし、移住者向け住宅の確保を図るため、市町村が実施する空き家の実態調査に係る経費の一部を補助するとともに、当該調査で得られた結果を集約及び分析する。

(1)住宅耐震化促進事業費補助金 33,110千円

補助先：31市町村

補助率：1/4(国1/2)

補助対象：市町村が空き家の実態調査を行うための経費

(2)空き家実態調査分析業務委託料 2,996千円

委託内容：市町村の空き家実態調査結果の分析
移住者向け住宅の掘り起こし 等

委託先：高知県居住支援協議会空き家対策部会

委託方法：随意契約



(土木部 住宅課)

NEW

IoTによる生産性向上及び製品・サービスの 高付加価値化を支援 16,721

IoTやIT導入による一人あたりの生産性向上及び製品・サービスの高付加価値化を推進することにより、県内製造業と情報産業、第一次産業の振興を図る。

(1)IoT推進ラボ運営事業委託料 9,936千円

委託内容：県内第一次産業等が抱える現場の課題を抽出するアドバイザーの派遣、及び国内におけるIoTの活用状況についての調査

委託先：民間企業

契約方法：随意契約(プロポーザル)

(2)IoT運営委員会、研究会等の開催

事務費 4,854千円

(3)工業技術センターによる実証研究

事務費 1,931千円



(商工労働部 工業振興課、新産業推進課)

拡

工場等の新增設を支援 260,681 【債務負担】 503,500 (企業立地促進事業費補助金)

工場等の新增設経費に対する助成により企業の立地を推進し、本県経済の活性化と雇用機会の拡大を図る。

企業立地促進事業費補助金 567,431千円 828,112千円

企業立地促進事業費補助金 996,250千円 1,499,750千円【債務負担】

補助先：企業立地促進要綱に基づく指定企業

補助率：一般 10%、先端技術産業等 15%、流通団地用地 35%・45%、テクノパーク用地 2/3、定額

(商工労働部 企業立地課) 20

拡

地域が主体となった観光拠点の整備を支援 100,000
(観光拠点等整備事業費補助金)

産業振興計画に位置づけられた取組等を対象に、地域が主体となった全国からの誘客につながる観光地づくりを進めるため、観光拠点の整備及び観光資源の発掘、磨き上げ等の取組を総合的に支援する。

観光商品磨き上げ事業

補助先：市町村等

補助率：1/2以内

ピースフルセレネ改修事業（香美市） 50,000千円

モネの庭レストラン棟整備事業（北川村） 50,000千円



(観光振興部 地域観光課)

NEW

春野総合運動公園陸上競技場の芝の改修 36,444
【債務負担】 49,200

プロスポーツのキャンプに対応できるよう春野総合運動公園陸上競技場の芝の改修工事を行う。

春野総合運動公園陸上競技場芝改修工事

契約方法：一般競争入札



(土木部 公園下水道課)

NEW

**遊漁船業者等が行う情報発信やサービス機能の強化等
に対する支援制度の創設 4,515**

遊漁振興を推進するため、遊漁船業者が行う情報発信や受入体制の整備などの取組に対して支援する。

(1)遊漁船業等アドバイザー事業委託料 625千円

(2)遊漁船業等振興事業費補助金 3,732千円

補助先：市町村等

事業主体：漁業協同組合等

補助対象：(ア)安全性の向上に資する設備等

(イ)サービス機能の強化に資する設備等

(ウ)事業者間の連携によるソフト対策

補助率：(ア)1/2以内 (イ)1/6以内(新規就業者は1/3以内) (ウ)1/2以内

(3)事務費 158千円



(水産振興部 漁業振興課)

NEW

漁船取得に対する補助制度の創設 2,338
(漁船導入支援事業費補助金)

「浜の活力再生広域プラン」等で中核的漁業者に位置付けられた者が、競争力強化に取り組むため、漁協等が行う漁船のリース事業に対して補助する。

補助先：市町村

事業主体：漁業協同組合、(一社)高知県漁船リース事業協会

補助率：新規漁業就業者 1/10以内、既存漁業者 1/20以内

補助上限額：2,500千円

対象船舶：総トン数10トン未満の漁船

2 日本一の健康長寿県づくり

NEW

高知赤十字病院の移転を支援 2,316

南海トラフ地震の津波浸水想定区域内に立地している高知赤十字病院が、救命救急センター等の平時の病院機能と併せて、災害拠点病院としての機能を発揮するため、浸水区域外への移転整備を行う経費について補助する。

(1)救命救急センター施設整備費補助金 1,968千円

補助先：高知赤十字病院

補助率：33/100（全額国費）

補助対象：救命救急センターの施設整備（ヘリポートを含む）

(2)地域災害拠点病院施設整備費補助金 348千円

補助先：高知赤十字病院

補助率：33/100（全額国費）

補助対象：地域災害拠点病院の施設整備（備蓄倉庫・受水槽等）



（健康政策部 医療政策課）

3 教育の充実と子育て支援

NEW

病弱特別支援学校の施設整備 3,746 【債務負担】 33,181

長期浸水区域に立地する江の口養護学校について、「高知県における特別支援学校の再編振興に関する検討委員会（第二次）」の提言を踏まえた新たな病弱特別支援学校施設整備を実施するため、設計調査等を行う。

(1)設計調査等委託料

基本設計

委託方法：公募型プロポーザル

契約期間：H28年12月～H29年10月

H29年度：22,737千円【債務負担】

測量委託業務

委託先：土地家屋調査士協会

委託方法：随意契約 3,746千円



(2)地質調査委託業務

委託方法：指名競争入札

契約期間：H29年2月～H29年7月

H29年度：10,444千円【債務負担】

（教育委員会 特別支援教育課）

NEW

心の教育センターの建替え【債務負担】 14,984

耐震基準を満たしていない心の教育センターの建替えに向け、設計調査等を行う。

(1)設計調査等委託料

委託方法：公募型プロポーザル

契約期間：H28年12月～H29年10月

H29年度：8,620千円【債務負担】

(2)地質調査委託業務

委託方法：指名競争入札

契約期間：H29年2月～H29年7月

H29年度：6,364千円【債務負担】

（教育委員会 人権教育課）



日本一の健康長寿県構想

県民の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるために

4 南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

NEW 吊り天井対策 2,252 【債務負担】 11,169

県有建築物の天井のうち、建築基準法に規定する「特定天井」及び文部科学省の通知で定める「特定天井に準ずる天井」に該当するもの等について、地震時の脱落防止対策等を実施する。

【幡多看護専門学校】
吊り天井の脱落対策工事にかかる実施設計を行う。

実施設計委託料 653千円
委託内容：吊り天井脱落対策工事の実施設計
委託方法：随意契約
(健康政策部 医療政策課)

【文化施設】
美術館のホール、本館展示室等において、吊り天井の脱落対策工事にかかる実施設計を行う。

美術館改修設計委託料 11,169千円【債務負担】
委託内容：美術館吊り天井脱落対策工事の実施設計
委託方法：指名競争入札
契約期間：H29年1月～H29年6月
(文化生活部 文化推進課)

【ざばさんセンター】
吊り格子天井及びダクトを撤去し、電灯のLED化を図る。

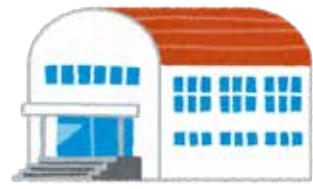
地場産業振興センター等設備整備事業費補助金 1,599千円
補助先：(公財)高知県産業振興センター
補助対象：ざばさんセンター天井対策工事の実施設計に係る費用
補助率：定額
(商工労働部 商工政策課)



NEW 学校体育館の非構造部材等の耐震化 16,492

発災時に県立学校体育館の避難所としての機能を維持するため、体育館ごとの現状を点検・調査し、非構造部材の落下防止対策等を講じる。
(9月補正実施：5校)

県立学校体育館実態調査等委託料
委託先：民間業者
委託方法：競争入札



(教育委員会 学校安全対策課)

抜 『世界津波の日』高校生サミットin黒潮の開催 14,033 (地震対策企画調整費)

『世界津波の日』高校生サミットin黒潮を開催するにあたり、必要となる経費について県と黒潮町でそれぞれ負担する。

「世界津波の日」高校生サミットin黒潮(県と黒潮町の主催)
開催日：平成28年11月25日～平成28年11月26日
開催場所：高知県黒潮町(土佐西南大規模公園園体育館他)
共催：国連国際防災戦略事務局(UNISDR)駐日事務所
後援：国土強靱化推進本部、内閣府(防災担当)、
外務省、文部科学省、経済協力開発機構(OECD)
参加予定者数：高校生約360名(引率者等除く)
(海外招聘者29か国約250名、国内参加者35校約110名)

(1) 世界津波の日高校生サミット開催事業費運営負担金 12,255千円
負担先：黒潮町
負担割合：1/2

(2) 世界津波の日高校生サミット受入業務委託料 1,778千円
委託内容：国内高校生等の県内のバスによる移動の調整及び実施
委託方法：一般競争入札



NEW

宿泊施設の事業継続計画（BCP）の策定を促進

9,936

熊本地震を受けて、避難所や復興支援者等の滞在場所としての機能が求められる旅館・ホテルの早期事業再開の実現のため、県内旅館・ホテル等の調査及びBCP策定支援、初動対応訓練の実施及びマニュアルの見直し等を行う。

旅館業事業継続計画策定支援事業等委託料

委託内容：旅館・ホテルの現状調査の実施、BCP策定支援、初動対応訓練の実施及び初動マニュアルの改訂等

委託方法：随意契約（プロポーザル）



（観光振興部 観光政策課）



©やほせたがし

5 少子化対策の抜本強化と女性の活躍の場の拡大

NEW

企業等における結婚支援の取組の促進

13,940

企業等による独身従業員への結婚支援の取組を進めるため、企業等への意識啓発等の研修や、企業等間でスムーズな交流ができる仕組みづくりを行う。

- (1) 結婚支援サポーター等応援事業委託料 7,354千円
 結婚支援サポーター等研修事業（2,148千円）
 委託内容：結婚支援の意識啓発・ハラスメント研修の実施
 契約方法：指名競争入札

企業等間コーディネーター配置事業（1,620千円）
 委託内容：結婚支援サポーター等の活動支援、企業等間イベント実施等の支援を行うコーディネーターの配置

- 結婚応援PR動画作成（3,586千円）
 委託内容：結婚をポジティブに捉えていただくとともに県の結婚支援の取組を紹介する映像の作成
 契約方法：随意契約（プロポーザル）



- (2) インターネットホームページ再構築委託料 3,662千円
 委託内容：結婚応援サイトの再構築
 （企業等間イベント管理機能の追加と再構築）
 委託先：（株）愛媛電算
 契約方法：随意契約

- (3) 「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」グッズの作成等 2,924千円
 「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」の登録団体数の増等を図るため、応援団グッズの作成・配布を行う。
 応援団グッズ（表札、卓上立て札、卓上ミニのぼり旗、応援団シール）



（地域福祉部 少子対策課）